

事業活動実績報告書

施設名	遍照院幼稚園		
教育理念	優しく 強く 伸び伸びと優しく(人やものにも) 強く(心や体を) 伸び伸びと(一人一人の個性を活かしながら)		

事業の区分 (5領域)	表現(造形)		
1 事業名	陶芸指導		
2 実施期間	令和6年9月5日(木)形造り、令和6年9月17日(火)本焼き		

3 取組概要

(取組日) 2学期

(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること

担任による事前指導。
・日常保育の泥遊びから陶芸につなげた話を行う。



(取組日) 令和6年9月5日(木)

(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること

・外部陶芸講師により陶土から形造りを行う。
(園児の実態に応じて作るものは変更している。)
・その年により缶や紙、膝などを使いながら形を造った後に、表面に自分の好きな絵柄を描く。



(取組日) 令和6年9月17日(火)

(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること

素焼きした作品に一人一人が自分で選んだ色で色付けをし、園庭にて本焼きを行う。
窯から作品を出したときにしか聞こえない音を聞いたり、火の当たり具合で出る珍しい色についての話を聞く。



(取組日) 令和6年10月8日 ~ 令和6年10月14日

(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること

現代手工芸展に出展(都美術館)

写真添付
活動内容が分かるもの
取組に関するもの

効果検証報告書

施 設 名		遍照院幼稚園	
教 育 理 念		優しく(人やものにも) 強く(心や体を) 伸び伸びと(一人一人の個性を活かしながら)	

事業の区分(5領域)		表現(造形)	
1 事業名		陶芸指導	
2 事業概要		外部陶芸講師を招き、陶器が出来る過程を学ぶ。	

計 画 時	3 実施体制		取組に必要な環境(人員、事業の遂行に必要な技能やノウハウ等)の保有状況 陶芸指導 1名、補助(担任)1~2名(必要に応じて)
	事業後	3についての効果・検証	事業実績から推測される効果や改善点等 陶芸の専門的な指導と子どもの専門的な指導との連携を行ったことで、より良い体験ができた。

計 画 時	4 事業のねらい		①想像力を磨く。 ②陶土の感触を楽しむ。 ③陶土の塊から陶器が出来るまでを学ぶ。 ④一からものができる楽しさを知る。
	事業後	4についての効果・検証	事業実績から推測される効果や改善点等 ・陶土の感触を楽しみながら、コネコネすることで、自分の想像したものを表現する楽しさを知ることができた。 ・陶土の塊から形になり陶器が出来るまでを知ることができた。

5 取組の内容		計画スケジュールを含む詳細な取組内容、経験させたい内容等 ①日本の伝統工芸を知る。 ②形造り 陶土から皿、鉛筆立て、写真立てなどの形を造る。 ③素焼きされた陶土に色付けをして、本焼きし、窯出しをする。 ④現代手工芸展に出展する。
事業後	5についての効果・検証	事業実績から推測される効果や改善点等 ・日本の伝統工芸(陶芸)を知ることができた。 ・陶土から自分が造った陶器が出来るまでの過程を体感できた。

6 環境構成	保育室（形造り）、園庭（色付け、本焼き、窯出し）
--------	--------------------------

6についての効果・検証	事業実績から推測される効果や改善点等 ・触ったことのない陶土を触ることで、指先の感覚を養うことができた。 ・陶土をコネコネして焼き物の面白さを知ることができた。
-------------	--

7 期待される効果 児童の姿	取組を通じて期待される児童の姿や効果等 ①陶芸指導を通して、想像力、感性が磨かれる。 ②本焼きの「窯出し」の瞬間の陶器の変化を感じる。
-------------------	---

7についての効果・検証	事業実績から推測される効果や改善点等 自分で心を込めて造ったことで、一つの事をやり遂げる達成感や、ものづくりの面白さ、ものの大切さを知ることができた。
-------------	---

8 効果検証 総括	事業を通しての感想、今後の教育・保育に向けて ・日本の伝統工芸（陶芸）を知り、「おもしろい。」と興味をもつことができた。 ・自分で一生懸命に造ったことで達成感を知った。 ・ものづくりの面白さを知った。 ・陶器は落とすと割れるので、落とさないように、ものを大切にしようとする気持ちを養うことができた。 ・現代手工芸展に出展することにより、園児の意欲が高まった。
--------------	--